

## 第三期北区子ども読書活動推進計画（素案）に関するパブリックコメント実施結果

意見募集期間：平成26年12月10日（水）～平成27年1月15日（木）

意見提出者数：2名（内訳：メール1名、持参1名）

意見総数：6件

周知方法：北区ニュース（12月10日号）、北区ホームページ、区立図書館、区政資料室、地域振興室

提出された意見の要旨とそれに対する教育委員会の考え方は以下のとおりです。

### 第1章「1 計画策定の背景」について

	意見（要旨）	件数	教育委員会の考え方
1	「子どもの読書活動の意義」の中で本が身近にある環境と、読書の意義を理解して子供と本を結びつける大人が必要なのです、としている。大人の必要性は理解できるが、良書を知れば、自分自身で友達に勧めることもあるだろうとも思われる。2期で生きる力を銘打っていたこともあり、子供たちの自主性に少し目を向けて語られるべきでは。	1	子どもたちの自主性は大切なことです。本計画でも、「子どもたちは、読書を通して自ら課題を見出し、考え、判断し、表現することができる資質や能力を育むことができます。」とし、その育みを、乳幼児期の取組みや読書活動のための環境づくりなどで大人が支えるため、取組みを進めてまいります。

## 第2章「1 年齢・発達の段階に応じた取組み」について

	意見（要旨）	件数	教育委員会の考え方
2	東京都の第三次子供読書活動推進計画中間のまとめについても読んだが、東京都では読書の質の向上を新たな目標としている。 北区の計画の中でこの点はどうか。	1	北区の計画の中でも、乳幼児期から小中学生まで年齢や発達に応じたブックリストの配布や、読み聞かせ、ブックトークなど様々な取組みを通して、読書の質の向上に活かしてまいります。
3	中高生世代を対象とした取組みで、ビブリオバトルを図書館主催の大会として実施するとあるが、図書館で実施する大会は1回でよいとして、各学校で予選会を開催するなどの取組みも取り入れてみてはどうか。この時に選ぶ本が大人（先生）が口出しすべきではないので、ビブリオバトル推進員になるなど、サポートできる体制を用意することも必要と思う。	1	中学生職場体験の中でもビブリオバトルを実施し、普及に努めています。図書館としても各学校での実施を支援し、連携して、中高生が本や図書館とつながるよう活かしてまいります。

## 第2章「2 連携・協力」について

	意見（要旨）	件数	教育委員会の考え方
4	保育園・幼稚園との連携として、読み聞かせに適したブックリストの配布、読み聞かせ講座の開催としているが、児童館は含まれないのか。児童館も購入する本など迷うことがあるのでは。また、子供たちが学校より自由に本に手を伸ばせる場所であると思うので学校におく良書とはまた違う、読書が楽しくなるような蔵書があってもよい。	1	児童館における読書活動支援については、小中学生を対象とした取組みの中で児童館などと連携し、環境に合った図書の充実を図ってまいります。

第2章「4 啓発・広報・評価」について

	意見（要旨）	件数	教育委員会の考え方
5	評価について、どのようにするのか。	1	学校での読書活動実態調査、図書館での児童サービスに関する実態調査などの実施を通して評価し、事業の推進に活かしてまいります。

第2章「5 担い手づくり」について

	意見（要旨）	件数	教育委員会の考え方
6	本は親子のコミュニケーションを育むのに大切な物である。本の絵に興味関心を示し、親に共感を求め、親からの問いかけに応じるなど、子の状況にあった読み聞かせ方があると思う。どのように本を読んであげてよいのか分からない親たちに対して、読み聞かせの講座があるのは良いと思う。	1	子どもにとって一番身近な担い手である家庭の保護者などへの読み聞かせ講座、協働によるボランティア養成講座を実施し、読書活動の推進に努めてまいります。